

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第165号

平成24年2月1日



▲第6回議会報告会開催のようす（平成24年1月23日 藤尾自治センターにて）

■ おもな内容 ■

第360回定例会	2～7
◇本会議の概要	2
◇審議結果一覧	3
◇陳情の処理	3
◇意見書の提出	3
◇一般質問	4～7

◆特別委員会活動報告

◇(仮称)仙南クリーンセンター建設に向けての議会の取組み	7
◇角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会	7
◆2月定例会日程（予定）	8
◆議会日誌	8
◆編集後記	8

条例議案、補正予算議案など
20件の議案が審議されました。

第360回定例会は12月8日に招集され、市長提出議案が19件、議員提出議案が1件、あわせて20件の議案が提案されました。そのうち、条例議案・指定管理者の指定について及び大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更に関する議案については、所管の常任委員会に付託しました。上程された議案は、それぞれ慎重に審議され、農業の館の管理運営に関する指定期間の延長に関連する議案については、修正議案が出され修正案は、可決されました。本定例会は、15日間の会期を経て同月22日に閉会しました。

本会議

◎第1日(12月8日)
会期を15日間と決定した後、固定資産評価審査委員会委員の選任の人事案件について審議し、採決の結果原案のとおり同意しました。次に、市長提出議案について提案理由の説明がありました。

◎第2日(12月14日)
本会議初日に提案された18議案に対し、本田敏昭議員、柄目孝治議員、今野林一郎議員、日下七郎議員の4名が質疑を行いました。また、条例議案2件と障害者就労支援施設「のぎく」、金津児童センター・北郷児童センター及び北郷児童クラブを管理させる団体(指定管理

者)を指定する議案及び大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更に関する議案については、所管の常任委員会に付託しました。その後、議員間の自由討議を実施し、相澤邦戸議員と柄目議員の通告に基づき、活発に意見交換を行いました。

◎第3日(12月20日)
今定例会には市長提案に対して2つの修正動議が出されました。いずれも農業の館の指定期間の延長に対するもので、「2年延長」の市長提案に対し、「1年」とする修正案が渡邊誠議員から提出されました。これについては、谷津睦夫議員が「施設の管理運営上の問題と上程趣旨の論点を分けて考えるべき」とする反対討

論を行いました。一方、日下議員と齋藤正一郎議員は、「農業の館の管理運営については再三議会で問題提起されているにもかかわらず、今回の提案がなされた事は遺憾であり、問題の解決なしに指定期間を延長することはできない」として、修正案の賛成討論を行いました。採決の結果、賛成多数で修正案は可決されました。

また、農業の館を除く指定管理者の指定期間の変更に関する4議案について、日下議員が反対討論、谷津議員、齋藤議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で可決されました。

決の結果、賛成多数で可決されました。その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。

◎第4日(12月21日)
前日に引き続き、4名の議員が一般質問を行いました。(5〜7ページ参照)

◎第5日(12月22日)
相澤教育厚生常任委員長より、指定管理者の指定等の付託議案の審査結果について報告がありました。日下議員が反対討論、谷津議員が賛成討論を行い、表決の結果、可決されました。

また、細川健也総務財政常任委員長より、職員の給与に関する条例等の一部改正議案の審査結果について報告がありました。日下議員が反対討論、谷津議員が賛成討論を行い、表決の結果、賛成多数で可決されました。続いて、議員発議により意見書の提出議案が提案され、原案のとおり可決しました。(3ページ参照)

人事案件

▼固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意するもの。任期は平成23年12月26日〜平成26年12月25日。
黒田正敏 氏(再任)

主な補正予算の概要

▼一般会計(第7号)
歳入・歳出予算にそれぞれ2億2,685万7千円を追加補正するものです。
歳入の主なものは、地方交付税、国・県支出金及び市債の追加で、歳出の主なものは、次のとおりです。

- 小・中学校防災用デジタル無線機購入費
 - 放射能除染用高圧洗浄機等購入費
 - 台風15号による農業用施設・公共土木施設の災害復旧費
- また、債務負担行為補正として、角田市障害者就労支援施設のぎく指定管理料等15件を追加、行政システム借上料を変更するものです。

その他

▼大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更
みやぎ県南中核病院等を運営する「大河原町外1市2町保健医療組合」の企業団化(注)に伴う、同組合規約の所要の変更をするもの。
(注)「企業団」になると、地方公営企業法の適用により、独立採算制の公営企業として病院事業を行うことになる。執行機関の長として、新たに企業長を置く。

陳情の処理

▼北角田中学校通学路の安全確保を求める陳情
角田市江尻字前原50番地北角田中学校区教育振興会会長 伊藤善昭
市当局へ要請しました。

意見書の提出

▼東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う原子力損害賠償範囲の拡大に関する意見書
賠償紛争審査会は原発事故との因果関係が認められる地域として福島県に賠償対象としているが、福島県に隣接する宮城県南市町の空間放射線量は、福島県内市町村と同様の数値を示しており、国の除染対象の「汚染状況重点調査地域」にも指定されることから放射能汚染に県境はない。以上のことから、賠償範囲の拡大を要望する。

表1

第360回定例会 審議結果一覧

議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田市議団	無党派
人事案件 固定資産評価審査委員会委員の選任について	12月8日	同意	○	○	○	○	○
条例 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について/特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	12月20日	可決	○	○	○	○	○
例 角田市老人寮条例の廃止について	12月22日	可決	○	○	○	○	○
職員給与に関する条例等の一部改正について	12月22日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
平成23年度補正予算 一般会計(第7号) (農業の館の指定管理期間を1年とする修正案)	12月20日	修正可決 賛成9 反対8	×	○	○	○	○(2) ×(3)
一般会計(第7号) (上記以外の部分)			○	○	○	×	○
国民健康保険事業特別会計(第2号) 後期高齢者医療特別会計(第2号) 介護保険特別会計(第3号) 公共下水道事業特別会計(第5号) 農業集落排水事業特別会計(第5号) 水道事業会計(第3号)	12月20日	可決	○	○	○	○	○
その他 指定管理者の指定の期間の変更について (みやぎ山南農業協同組合)	12月20日	修正可決 (賛成9 反対8)	×	○	○	○	○(2) ×(3)
の 指定管理者の指定の期間の変更について (財団法人角田市地域振興公社) 指定管理者の指定の期間の変更について (社会福祉法人角田市社会福祉協議会) 指定管理者の指定の期間の変更について (角田市観光物産協会) 指定管理者の指定の期間の変更について (マルチプライ株式会社)	12月20日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
他 指定管理者の指定について (社会福祉法人角田市社会福祉協議会) 大河原町外1市2町保健医療組合規約の変更について	12月22日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
議員提出議案	議決年月日	議決結果	クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田市議団	無党派
意見書 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う原子力損害賠償範囲の拡大に関する意見書の提出について	12月22日	可決	○	○	○	○	○

各会派の構成メンバー

- クラブみんしん(谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、相澤邦戸、柄目孝治)
- 政友会(渡邊誠、齋藤正一郎)
- 市民クラブ(本田敏昭、小島正、湯村勇)
- 日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄)
- 無党派(会派に属さない議員)小湊毅、馬場道晴、伊藤善昭、玉手安博、佐藤正友議長、高橋力雄副議長



放射能対策について

馬場道晴 議員

議員▼保育所・学校給食で使用される食材、調理後の給食も厳しく検査を行い、すべてのデータを記録保存していただきたい。給食専用の放射能測定器、ストロンチウムも測定可能な機種を最低でも各所2台は導入すべきです。

市長▼給食センターはすべて不検出の食材を使用しています。調理後の給食の放射能測定結果は、今後、国・県の動向を勘案します。検査実施は課題も多く今後、実施の可能性を含め検討したいと考えています。データの記録保存は保育所給食・学校給食すべて記録保存しています。測定器の増設は、消費者庁の貸与申請の準備を進めています。議員▼家庭でできる一調理の際の食品に含まれる放射能の減らし方、「田畑や家庭菜園での放射能の減らし方」の取り組みが重要です。ハウツー本を作成し各家庭に配布すべきです。

市長▼各家庭の食卓の段階から放射能の低減に取り組んで頂くようにしたいと思っており、冊子の内容は今後検討をしたいと思えます。

議員▼8月議会でも質問した本市の放射能に関する健康調査について、今後実施する予定はあるのか。市長▼国や県の動向を注視しながら角田市においても健康調査が必要であると判断されれば迅速に対応したいと考えています。

災害時ホームページ代埋掲載と遠隔地自治体との連携について

議員▼災害情報の発信機能の充実と強化を図るため遠隔地の自治体と連携しホームページ代埋掲載すべきです。

市長▼宮城県ホームページへの掲載をはじめ被害の及ばなかった姉妹都市友好都市、災害協定を締結している自治体などホームページ代埋掲載

市長▼目黒区のように相手方を特定しておくことも必要で、角田市と何らかの縁がある自治体との連携について検討したいと思っています。

自然エネルギーによる発電への取り組みについて

小湊 毅 議員

議員▼福島第一原発事故による不安定な電力供給は、深刻な問題です。自然エネルギーの導入が、この問題を解決する鍵となることを期待しています。

市長▼導入実績は、この間の角田市では、太陽光発電が、約100戸、風力発電が、約10戸、水力発電が、約10戸、地熱発電が、約10戸、バイオマス発電が、約10戸、合計約130戸です。

議員▼学校の耐震化や災害復旧に全力を挙げ、事業完了後に検討したい。公共施設では市民センター等に導入を考えておられる。議員▼調査するとしたら国・県が先導的に行うべきだと思います。

議員▼側面のみコンクリートの側溝をコンクリートに整備すべき。また、土側溝の整備は、元の土質に合わせた方法があるのではないかと。市長▼底のコンクリート化は現場ごとに判断します。土側溝は順次字溝化しているが、小規模修繕であれば資材の提供で地元の方々にお願いして頂いていいと思います。

議員▼9月の台風15号の大雨で河川や排水路から水が溢れ、被害が多数発生しました。近年大雨の規模が増えています。排水路は土砂で埋まり、大雨の水が溢れで、土砂が排水路を詰まらせています。大雨の時は、土砂の除去が行われています。議員▼土砂の除去は、土砂の除去が行われています。議員▼土砂の除去は、土砂の除去が行われています。

議員▼西根小学校の通学路で劣悪な道路状況と言わざるを得ない箇所が2箇所あります。西根地区の公民館の前を通り11区の堤までの道路を早急に改良すべき。市長▼現地を確認し対応します。議員▼西根小学校の南側の階段までの砂利道の排水路の整備及び舗装化を行うべき。市長▼地元区長等の意見を聞きながら、今後検討します。



角田中央公園周辺の交通安全対策と市道の新設について

伊藤善昭 議員

議員▼除染の最終目標、着地点をどのように考えているか伺います。市長▼市の除染基本方針は、長期的な目標として年間追加被曝線量が1ミリシーベルト以下になることを基本としています。日常の生活を営む環境は、平成25年8月末までに、年間追加被曝線量を現在の線量と比較して約50%

減少した状態を実現させること。特に学校、児童館など子供が安心して活動できる環境を優先的に除染することにより、子供の年間追加被曝線量を現在の線量と比較して約60%減少した状態を実現させることを目指しています。議員▼放射性物質を含む除染した土壌や側溝の汚泥等の処分をどうするか伺います。

市長▼除去した土壌等の処分は、仮置き場が設置されるまでの間は、比較的広い敷地を有する施設では敷地内に仮置き場をして子供や地域住民が近寄らないような措置を講じます。議員▼魚介類のストロンチウム90を系統的に検査する考えはあるか伺います。

議員▼常磐自動車道山元ICから市内中心部に直結する角田山下線の開通により、市内への交通量が増加しています。特に主要地方道角田山元線と市道角田橋半田線のT字路で接続する角田橋付近は、日ごろ大変な混雑が見受けられる状況です。朝夕の通勤ラッシュ時や催しがある際の交通は混雑を極め、特に県道・市道からの右折は大変危険です。

議員▼現在の宮城県に對して強く要望したいと思えます。議員▼将来に向けて、角田中央公園付近を賑わいの交流拠点と位置づけ整備していくのであれば、堤防と共用されている現在の市道は交流道路などとして活用し、そのかわりに市道中谷地町永線の起点付近から半田川に橋をかけ、農村環境改善センター東側の市道枝野青木2号線に接続するルートの新設が最もよいと考えているが、市長の考えを伺います。

議員▼現在、中央公園一帯の賑わいの交流拠点施設整備基本構想を策定中ですが、次のような視点で道路網の検証を行い、必要であれば道路整備を検討したいと思えます。1点目は、一つの道路に交通量が偏らないように考えたいと思えます。2点目は、角田中央公園や市民ゴルフ場、あぶくまパークゴルフ場の利用者がますます増加することが予想されるので、これらに対応した道路の配置です。3点目は、厳しい財政状況ですので道路整備に伴う財政計画を立てる事です。4点目は、主要地方道角田山元線と市道角田橋半田線の交差点の整備との整合性を図る必要があります。

伊藤議員その他の質問
○個人演説会の施設について
○期日前投票の投票率について



放射能除染対策等について

八島定雄 議員

市長▼測定方法は極めて複雑な工程と長い時間が必要とされるため、ストロンチウムに関する測定については、市で取り組んでいくというのは難しく、県に要望したいと思えます。

議員▼測定方法は極めて複雑な工程と長い時間が必要とされるため、ストロンチウムに関する測定については、市で取り組んでいくというのは難しく、県に要望したいと思えます。

ごみ収集における市民サービスの向上について

議員▼家庭ごみを自ら指

議員▼今年度、市としてこの事業をどのように考えているか伺います。市長▼国の方針に沿って進めたい。宮城県から「厚生労働省は子宮頸がん等のワクチン接種事業については現在と同じ対象者のままで1年延長する。」との回答をいただいたので、来年度も引き続き実施できるものと考えています。

議員▼慎重に対応すべきだと思います。市長▼慎重に対応すべきです。議員▼慎重に対応すべきです。市長▼慎重に対応すべきです。



▲渋滞する角田橋付近



市長の所信について

湯村 勇 議員

思を固めたところです。

協働のまちづくりについて

議員▼横倉地区振興協議会が作成した地区計画の事業の優先順位について議員には一切情報が入っていません。優先順位を決める場合、地区自治センターと行政区長、市議会議員の3者が入って決められた方がなお一層、地区内の事業が透明化され、住みよいまちづくりにつながると思うが、市長の考えを伺います。

市長▼重要案件を進めていく場合、市民と行政の協働によるまちづくりを進めているわけですから、地域の関係者の方々が集まって話し合いをして決定する。そうしたプロセスが大変重要だと思っておりますので、協働の理念を再認識しながら層の推進を図りたいと思います。今回のような横倉地区の重要案件を決定してい

く場合には、地元の議員が協議の場に入っていたらだくべきであったと反省しております。

なお、ほとんどの地区振興協議会では議員は顧問という立場で入っている状況です。

図書館の充実について

議員▼子ども図書館は完成したものの、施設全体を考えた時、充実した図書館というには物足りない感じがしてなりません。大震災による市民センターの改修に図書館を含めた改修構想を考えてはどうか。

市長▼現在、市民センターは大震災により大改修を余儀なくされています。今後、この改修の基本設計を進める中で、図書館のあり方についても前向きに検討し、より多くの皆様に親しまれる図書館を目指してまいります。

納税事務の取り扱いについて

議員▼これまで、納税貯蓄組合は合計納付書で納付してきたが、市役所のコンピュータシステムの変更により、今後は納税義務者ごとの納付書となり、金融機関では決済に多くの時間を要すると想定されるが、どのように考えているのか。

市長▼納税貯蓄組合における合計額納付通知書による取り扱いは、県内では角田市のみです。現在、金融機関に変更内容を説明し事務が滞ることのないよう御協力をお願いしているところです。

議員▼どの程度、市において経費削減されるのか。

市長▼市のシステム全体で、5年間総額1億8,800万円ほどの経費削減が見込まれます。議員▼市役所だけが経費削減し、300組合中の納付事務を取り扱っている、みやぎ仙南農業協同組合だけに経費負担をさせる結果になると思うがどうか。

市長▼みやぎ仙南農業協同組合にできるだけ負担が増えないよう、今後、話し合いをしていきたいと思えます。

【小島議員への他の質問】

○農地を守る施策について

あると考えています。

議員▼自然災害の中の人々の被害であると思うが、市長はどう思いますか。

市長▼農地を災害から守るということではいろいろ工夫してきたところですが、なかなか自然の力にかなわないという状況が地形上あると思います。

議員▼小田川が増水するたび農地は冠水、道路は通行不能となり、日常生活に支障をきたします。行政はこの現状をどう認識し、どのような対策を講じてきたのか伺います。

市長▼小田川の河川改修は、平成18年から再開され、現在、築堤工事を継続して実施しています。農地の排水について大きな影響を与えるものだと考えており、早期完成に向けて県に要望していきたいと思えます。

議員▼この地域は遊水池の役割を果たしていることから、冠水に対する補償をすべきと思うが、市長の考えを伺います。

市長▼小田川の河川改修計画では、この地域は遊水池の位置づけではないため難しいと考えています。また、補償より、大雨時の冠水被害をいかに軽減できるか検討し対策を講じることが重要だと思います。

小田川流域の排水対策について

小島 正 議員



あると考えています。

議員▼これまで、納税貯蓄組合は合計納付書で納付してきたが、市役所のコンピュータシステムの変更により、今後は納税義務者ごとの納付書となり、金融機関では決済に多くの時間を要すると想定されるが、どのように考えているのか。

月日	会議名	内容
12月8日(木)	第2回ごみ処理等対策調査特別委員会	市当局から、仙南地域広域行政事務組合に対する(仮称)仙南クリーンセンター建設に伴う地域振興対策として「角田市活性化要望事業(案)」と「毛萱地区地元対策事業(案)」を要望する旨の説明がありました。その内容を受けて、各議員より活発に質疑や意見等が出されました。
12月14日(水)	一般会議	議会基本条例に基づき、「仙南クリーンセンター立地対策委員会」の役員の方々と各会派代表の議員による一般会議を地元公民館を会場に開催しました。建設場所である毛萱地区の方々の考えや要望について意見交換をしました。
12月16日(金)	第3回ごみ処理等対策調査特別委員会	第2回の委員会で、市長から示された地元対策要望事業等について慎重に審議され、当該要望事業については全会一致で同意されました。市長はこれを受けて、仙南地域広域行政事務組合に対し、正式に本市の要望として報告しました。

角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会

12月定例会での修正議案の可決を受けて、12月22日に、議員全員で構成する新たな特別委員会が設置されました。この委員会は、農業の館の問題点、管理運営のあり方を調査し、施設の有効活用に向けて検討するものです。

委員長 玉手安博
副委員長 伊藤善昭

(閉会中の継続調査事件)
○角田市農業の館の管理運営に関する事項について



災害等廃棄物の処理について

日下七郎 議員



議員▼被災者から私に、倒壊家屋等の処理委託の既決予算の執行が遅れているとの相談が寄せられています。事務執行の遅れの要因と年内の改善が可能なか伺います。

市長▼ご指摘のありました事務執行の遅れについては、既に所有者が解体した25棟の家屋の解

体・撤去費の支払いが遅れており、現在、急いで対応しているところですが、国・県の指示では、市から業者に費用の支払いをすることがなっていることから、家屋所有者から業者へ支払われた代金については家屋所有者へ返還するような手続になっています。しかしながら、9月、家屋の所有者や施工業者との意向確認において、工事費用を家屋所有者に一たん返還する方法は資金的に非常に厳しいという意見を多数いただいたことから、直ちに調査検討をしたところ、市から家屋所有者に直接支払う手続が可能であることが判明したので、10月末にその手続に改めました。提出していただく追加資料が必要になることもありますが、遅くとも来年1月末には全て支払いを完了するよう進めます。

農地の放射能除去について

議員▼厚生労働省は、平成24年4月1日施行で食品に含まれる放射性物質の基準見直し、放射性セシウムの暫定基準の年間被ばく限度について、現在の5ミリシーベルトを引き下げ、厳格化する方針

です。

【日下議員への他の質問】

○角田市放射性物質除染基本方針について

農地の放射能調査を

実施する計画があるという

ことで、その結果や県の

農業研究部門の知見や

農業団体等のご意見を

いただきながら検討し、判

断していきたいと思いま

す。

市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになっているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるということですので、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思いま

す。

市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになっているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるということですので、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思いま

す。

市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになっているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるということですので、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思いま

す。

市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになっているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるということですので、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思いま

す。

市長▼議員ご指摘のとおりで、ゼオライトが植物へのセシウム吸収の抑制効果があるということが最近よく知られるようになって、福島県でもそのような方法で農地の除染をしていくということになっているようです。角田市として、ゼオライトの施用を積極的に進めてはどうかという質問ですが、現在、宮城県として農地土壌の放射能調査を実施する計画があるということですので、その結果や県の農業研究部門の知見や農業団体等のご意見をいただきながら検討し、判断していきたいと思いま

す。

市議会2月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 2月 13日(月) 招集告示、会派代表者会議
 17日(金) 議員協議会、議会運営委員会
 20日(月) 本会議(提案理由の説明)
 会派代表者会議
 21日(火) 議会運営委員会
 24日(金) 常任委員会(請願審査)
 27日(月) 本会議(質疑)
 予算審査特別委員会ほか
- 3月 1日(木) 議会運営委員会
 2日(金) 本会議(討論・表決)
 予算審査特別委員会ほか
 5日(月) 予算審査特別委員会
 会派代表者会議
 6日(火) 予算審査特別委員会分科会
 7日(水) 予算審査特別委員会分科会
 8日(木) 常任委員会(議案審査)
 9日(金) 常任委員会(議案審査)
 12日(月) 予算審査特別委員会
 13日(火) 本会議(一般質問)
 14日(水) 本会議(一般質問)
 議会運営委員会
 15日(木) 本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、2月13日(月)までとなります。
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。お気軽に足を運んでみませんか。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

傍聴者数 第359回(平成23年10月)臨時会 7名
 第360回(平成23年12月)定例会 49名

議会 会 日 誌

10月

- 17日 全員協議会
 教育厚生常任委員会協議会
 第359回臨時会招集
 告示
 会派代表者会議
 19日 議会報告会班長会議
 20日 東北市議会議長会事務局長会議(横手市)
 議員協議会
 議会運営委員会
 大河原町外1市2町保健医療組合議会臨時会

11月

- 1日 市議会だより163号発行
 教育厚生常任委員会
 教育厚生常任委員会
 全国市議会議長会基地協議会東北部会定期総会(秋田市)
 沖縄県南風原町行政視察
 石川県かほく市行政視察
 25日 第359回臨時会
 議会改革検討会議
 東北市議会議長会事務局職員研修会(長井市)
 仙南広域組合議会定例会
 大河原町外1市2町保健医療組合議会定例会

12月

- 1日 第360回定例会招集告示
 会派代表者会議
 議員協議会
 議会運営委員会
 第360回定例会本会議(第1日)
 8日 宮城県市議会議長会事務局職員研修会(白石市)
 議会運営委員会
 議員研修会
 平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会
 教育厚生常任委員会

- 9日 議会運営委員会
 議会だより編集会議
 本会議(第2日)
 議会改革検討会議
 一般会議
 12日 本会議(第3日)
 議会運営委員会
 本会議(第4日)
 21日 本会議(第3日)
 20日 本会議(第4日)
 19日 議会運営委員会
 16日 別委員会
 21日 本会議(第4日)

1月

- 1日 市議会だより164号発行
 会派代表者会議
 6日 議会だより編集会議
 13日 議会だより編集会議
 22日 議会運営委員会
 本会議(第5日)
 議会運営委員会
 議会だより編集会議
 仙南広域組合議会定例会
 会派代表者会議
 27日 本会議(第5日)
 28日 議会運営委員会

編集後記



▼新しい年も如月となり、節分・立春を迎える季節になりました。昨年は東日本大震災、台風15号と災害の多い年でした。「絆」という漢字で表現される程、本当に地域のつながり、人と人との心のふれあいの大切さ等、改めて痛感させられました。今年には除染の年になろうかと思えます。角田市は「汚染状況重点調査地域」の指定を受け「放射線対策室」を設置しました。市民の健康や生活環境への影響を限りなく減らすことで不安を払しょくし、安全安心を確保するため、現在、除染実施計画を作成中です。市議会といたしましても、当局と一体となり、角田市の復興に向けて全力で取り組んで参りますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

議会だより編集会議